

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当部署名	電話番号 (ダイヤル)	発表者名 (担当名)	その他配布先
10/11 (水) 10:00	企画部地域振興課	(078)362-4021	課長 中村 浩明 (副課長兼地域資源班長 小島 正樹)	-
	県立兵庫津ミュージアム	(078)651-1868	館長 笠井 敏光	



兵庫県立兵庫津ミュージアム 令和5年度 企画展 「ひょうごの匠展—来て・見て・感じて ひょうごフィールドパビリオン—」の開催

兵庫県立兵庫津ミュージアムでは、摂津・播磨・但馬・丹波・淡路という特色ある「ひょうご五国」の各地域で根付いた地場産品や工芸品とそれを生み出してきた「匠の技」をテーマとした展覧会を下記のとおり開催します。

記

- 1 会 期 令和5年11月11日（土）～令和6年1月8日（月・祝）
- 2 観 覧 時 間 9時30分～17時（開館は9時から。最終入館は16時30分まで）
※休館日：月曜休館（祝日の場合は翌日）、12月31日、翌1月1日
- 3 会 場 兵庫県立兵庫津ミュージアム ひょうごはじまり館
- 4 入 館 料 大人800円／大学生600円／シニア（70歳以上）400円／
高校生以下無料（※常設展、初代県庁館観覧料含む）
- 5 主 催 兵衛 兵庫県立兵庫津ミュージアム
後 援 兵庫県／兵庫県教育委員会／NHK 神戸放送局／
サンテレビジョン／ラジオ関西
- 6 問 い 合 わ せ 兵衛 兵庫県立兵庫津ミュージアム 笠井
〒652-0844 神戸市兵庫区中之島2丁目2-1
Tel 078-651-1868 Fax 078-651-1869

「ひょうごの匠展—来て・見て・感じて ひょうごフィールドパビリオン—」のみどころ

本展覧会では、兵庫県内の地場産品・工芸品とその技にスポットをあてた展示を行います。「ひょうごの逸品」とそれを生み出す「匠の技」を、匠を育む兵庫五国の風土と併せ紹介し、その魅力を発信します。

また、大阪・関西万博 2025 に向けて、兵庫県が展開する“フィールドパビリオン”で発信されている「ひょうごの匠」を映像等で紹介します。

1 ひょうご五国の地場産品・工芸品と「匠の技」を作品や動画を通して紹介！

2 「匠」によるライブパフォーマンスを実施！

のこぎりや刃物を約 3,300 本使った全長約 5.5 メートルの三木金物鷲の制作・解体工程を一般公開します。

【展示期間】

- ・11/23(木・祝)～12/10(日)

【ライブパフォーマンス公開日】

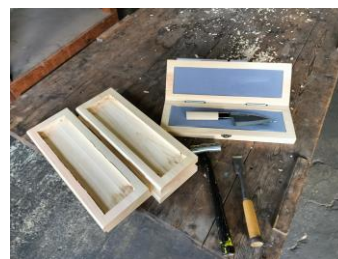
- ・11/23 (木・祝) 9時から制作開始
 - ・12/10 (日) 16時から解体作業開始
- ※予約不要でご自由にご観覧いただけます



三木金物鷲

3 「ひょうごの匠」を体感できるワークショップ等を開催！

- 以下のワークショップを実施予定
 - ・レコード針（金属針・木製針）の聞き比べ
 - ・革の端材を用いたキーホルダーづくり
 - ・鯉節けずり体験
 - ・包丁が入る2つ折りまな板作り
 - ・兵庫五国日本酒の利き酒
 - ・淡路線香の聞香 等



包丁が入る2つ折りまな板作り体験

※一部のイベントは、事前申し込みが必要

※詳細な内容・実施日程は、今後兵庫津ミュージアムのHP上で随時お知らせ

- 兵庫県産のおもちゃで親子が遊べる“ひょうごもんで遊ぼう”コーナーを設置

4 兵庫津発祥の「大丸神戸店」のあゆみを紹介！

江戸時代に呉服商として兵庫津に出店し、その後、元町に移転。今もなお、兵庫県や神戸の多彩な文化発信に取り組んでいる兵庫津発祥の「大丸神戸店」の歴史を写真パネルで振り返ります。



1908（明治41）年大丸呉服店
神戸元町4丁目神戸出張所